



T-time

帝塚山学園広報誌

Vol. 9
2020/Oct.

令和2年10月31日発行

帝塚山大学・帝塚山高等学校・帝塚山中学校・帝塚山小学校・帝塚山幼稚園



竣工時(昭和40年)

芝生の広場には、かつて大学旧1号館が建っていました。

帝塚山学園

学びを、**継続**させる。

今春、未曾有の事態に伴う臨時休校により

長期にわたって家庭での学習を余儀なくされました。

そして、ウィズコロナの時代——。

私たちは、決して学びを止めることはありません。

子どもたちの健康と安全を最優先に

また、帝塚山教育の不断の実践によって

質の高い学びを最大限に保障していきます。

巻頭特集

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う学園対応について …… p03
| 理事長インタビュー
- コロナで学びを止めないために …… p04
| 学園長インタビュー

大学

- Withコロナ時代「ハイブリッド型授業」で教育の質を保証する … p05
- Topics …… p06
| 奈良の旅をおしゃれに綴る券葉集
| 戦後75年 忘れてはいけない歴史を後世へ
| 学内1day仕事体験「社会で仕事をする」イメージをつかむ

中学校・高等学校

- 田んぼを通じて、学ぶ。「古代米田んぼプロジェクト」スタート … p07
- Topics …… p08
| 街をテヅカ色に彩る…南都銀行ショーウィンドウ展示
| 1位を目指さず1位になる…「京」から「富岳」へ富岳オンライン講演会

小学校

- 運動会 ～離れていても、心は密に～ …… p09
- Topics
| インターネットを使う際のマナーを知ろう
| 地道に続けてきた努力が実りました

特集

- 臨時休校中における各学校の対応について …… p10

幼稚園

- 2か月間、ずっと待っていたよ 帝塚山幼稚園入園式 …… p11
- Topics …… p12
| ゲームで学ぶ…English Time
| どんな湯のみ茶碗ができるかな？赤膚焼体験
| 浴衣姿で夏の思い出づくり てづキッズ祭り

- 帝塚山アーカイブズ<帝塚山大学／前編> …… p13
- 帝塚山学園創立80周年記念募金へのご協力をお願い …… p14



【T-time】(第9号)表紙

大学旧1号館は、開学から1年が経過した昭和40年に竣工しました。地下1階地上11階建ての校舎からは奈良市内が一望でき、2階ホールから正面階段へと続く腰壁には、建学の精神をテレタイプで打ったものを図案化した装飾が施されていました。

平成19年、耐震性の問題及び老朽化により解体撤去され、芝生の広場として学生が憩う空間に生まれ変わりました。

しかし、旧1号館の地中梁を可視化した茶色の直線タイルが、その場所に校舎が存在したことを今に伝えていきます。



学校法人 帝塚山学園 理事長

吉川勝久

「新型コロナウイルス感染拡大に伴う学園対応について」



日本で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が確認されてから、10ヶ月が過ぎようとしています。未だ終息の兆しは見えず、教育現場におきましても「withコロナ」を前提とした柔軟な対応が求められています。本学園においても、2月に緊急対策会議を開いて各学校園との連絡を密にし、3月26日に「帝塚山学園新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、教職員が一丸となって対応しています。

2月27日の安倍総理大臣（当時）による新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とした全国の小学校、中学校、高等学校、

特別支援学校の臨時休業措置の要請と緊急事態宣言の発出を受け、幼稚園（2歳児教育含む）から高等学校は、3月2日から5月31日まで臨時休校となりましたが、各学校のホームページや郵送による課題の提示、オンライン学習、そして夏休みの短縮等により、なんとか学校教育を維持してきました。2学期からは、子どもたちの安全を第一に感染症防止対策をとりながら授業や行事を実施しています。

大学においても、前期は一部の科目を除いてオンライン授業や課題による学修となりましたが、自宅学修支援金をいち早く給付し、大学同窓会からの寄付を原資とした「帝塚山大学緊急授業料等減免給付金制度」を新設するなど、コロナ対策と学生支援の両輪で学生の学びの維持に努めています。

教職員の工夫・努力、卒業生、保護者、ご家族の協力もあり、現時点では学園内における新型コロナウイルス感染症の拡大を最小限にとどめ、今日まで来たことにまず感謝申し上げます。そして、慣れない環境下での学習や学園生活に対する、園児、児童、生徒、学生みんなの努力

に重ねて御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない中、我々全員がコロナウイルス感染症の終息を早める一員であることを自覚しなければなりません。そして、「ポストコロナ」の状況も睨みつつ、この経験をこれからの学園教育に活かしていくことも考えていかなければなりません。「AI」「ICTの活用」「対面指導とオンラインのハイブリッド化」といった子どもたちの学習環境の変化は加速しています。コロナの危機が学園教育にとってよい転機となったと言えるようさらに教育の質の向上に努めてまいりたいと思います。何はともあれ、関係者各位のご健勝と新型コロナウイルスの終息を念ずるばかりです。

災害、疫病、戦争は我々の日常を変えさせると言われていますが、本当に現下のコロナ禍は世界中の国々の経済・社会・人々の日常生活を激変させています。

勿論、教育もその例外ではありませんし蔓延を防ぐため我が国では教育、学校から止まったことはご承知のとおりです。世界の国々の感染者数、それによる死者数から見る限り我が国は、対策が成功している国の一つであることは間違いのないところのようです。いろんな要素があり一概にはいえないものの、法規制する「ロックダウン」より「自粛」が功を奏しているのは何だろうかと考えてしまいます。

ただ、これから我々の未来である子どもたちのために、また子どもたちの未来のためにどう教育を成立させ充実していくかが私たち大人の課題だと考えています。当面、大学では遠隔授業と対面授業の両面対応ですし、高校、中学、小学校、幼稚園、二歳児教育までは検温、換気、マスク等の安全対策をしている対面授業しかないだろうと思っています。制度的にも大学は単位数の半分までは遠隔授業が許されていますが、高校での遠隔授業は例外的に離島、へき地の場合にだけ認められることとなっています。これは学校教育で学ぶことは教科

内容だけではなく、集団生活からも多くを学ぶものとされているからだとして理解しています。それに場の雰囲気、空気間はリモート、オンラインでは伝わりにくいと思います。

しかし、今回のコロナ禍が過ぎても次の何らかの疫病も災害もあるのですから、今回を教訓として、それに対応できる制度設計、我々の体制整備も必要なことは言うまでもありません。勿論、それに見合った社会教育や家庭教育の確

認、整備も必要になってくるでしょう。

何と言っても、「子どもたちの学び」は学校教育だけで済むものではないのですから。

「コロナで学びを止めないために」



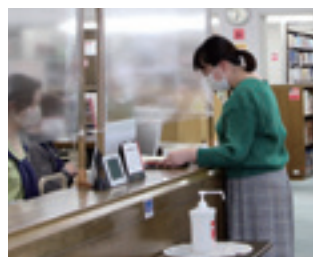
学校法人帝塚山学園 学園長

富岡将人



オンラインによる遠隔授業の様子 (環境デザイン)

Withコロナ時代 「ハイブリッド型授業」で教育の質を保証する



大学では新型コロナウイルス感染症拡大を受け、前期は原則として対面授業を行わないこととし、eラーニングシステムTALES (Tezukayama Active Learning Education Square) や Web 会議システム「Zoom」などを用いたオンラインによる遠隔授業を行ってきました。緊急事態宣言が解除された6月以降は、段階的にキャンパスへの入構制限を緩和し、個別指導や一部の対面授業を再開してきたところです。

後期についても引き続き、学生の健康と安全を第一に考え、遠隔授業と対面授業を併用した「ハイブリッド型授業」を実施します。

また、学生の学びの質の維持はもとより、在学生全員への自宅学修支援金や大学同窓会の支援による緊急授業料減免給付金の支給、大学のホームページにコロナ対策に関する情報を集約したオンライン広場「T-gate」を開設するなど、継続的な学修環境の維持についても本学独自に取り組み、今後も社会情勢や感染状況の変化へ柔軟に対応してまいります。



[T-gate]の詳細は、QRコードを読み取りご覧ください。
<http://www.tezukayama-u.ac.jp/t-gate/>

戦後75年 忘れてはいけない歴史を後世へ

[8月5日] ……

法学部法学科・末吉ゼミ所属の学生が奈良県内の戦争遺跡調査を行い、その結果をまとめた報告書をオンラインで公開しました。

報告書には、奈良ホテルの防空壕、柳本飛行場跡地などの戦争遺跡や戦争に関連する出来事が、学生の取材による記事と写真で紹介されています。

公開後、まもなく本学協定高校から平和教育に関する講義の依頼が寄せられ、次の世代への継承という目的を果たすことができました。報告書は、学術機関リポジトリ(<http://id.nii.ac.jp/1288/00001269/>)からご覧いただけます。



2021年度

学生募集要項 【ファミリー入試(後期)】

試験日：2020年12月19日(土)
出願期間：2020年11月24日(火)～
2020年12月16日(水)
2020年12月17日(木)のみ窓口受付可

※ファミリー入試とは…

学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院、短期大学)の卒業生もしくは在校生・在学生の2親等以内の親族(兄弟姉妹、子、孫など)を対象とした入試です。
詳しくは、入試広報課(電話:0742-48-8821)までお問い合わせください。

※この他にも、さまざまな入試制度を用意しています。
詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://www.tezukayama-u.ac.jp/admission/>



…… [5月]

奈良の旅を おしゃれに綴る 券葉集



『拝観券や美術展の半券を旅の思い出として残したい』文学部文化創造学科4年・絹野晋之介さんのこんな思いから、万葉集に因んで名付けられた「券葉集」は、拝観券を綴じるだけでなく、旅の記録や記念スタンプ収集などマルチな旅の思い出帳として完成しました。

昨年の大学祭での試作品販売を契機に、有限会社井上企画・幡の協力で商品化することが決まり、5月からは同社直営店で販売されています。

これからの紅葉の季節、皆さんも一冊いかがですか。



…… [9月15日]

学内1day仕事体験「社会で 仕事をする」イメージをつかむ

奈良・学園前キャンパスで、「学内1day仕事体験」イベントが行われました。今回は懇意企業3社に協力頂き、来春に就職活動を控える3年生延べ108名が参加しました。

参加企業の一つ、株式会社近創からのグループワーク課題は「クリスマス商戦における百貨店のディスプレイ計画を考える」というもの。

発表を受けた企業担当者からは、コンセプトや集客動員数などの具体的な質問が飛び、学生は頭を悩ませながらも装飾のプロの「仕事」を体感していました。



中学校
高等学校



田んぼを通じて、学ぶ。 「古代米田んぼプロジェクト」スタート



生徒達に普段の学校生活では触れることのない経験を得てもらおうという、女子コースの新たな取組「古代米田んぼプロジェクト」が今年度よりスタートしました。

理科を担当する奥本・藪岡教諭が発起人。「都会生活に慣れている生徒が里山で稲作体験をすることで、将来を考える際に食文化や広く社会を知る経験となれば」と、地元農家の瀬川健さん・樽井一樹さんにも協力を仰ぎ、実施にこぎ着けました。

スタート早々のコロナ禍によって実施が危ぶまれた中、中学女子10名が参加に名乗りを上げ、プロジェクトの舞台となる国営飛鳥歴史公園の田んぼへ向かい、6月に田植え、7月には雑草や害虫の除去作業を泥だらけになりながら行ってきました。古代米独特の稲穂が実り、田んぼを紅色に染め上げる10月下旬には、いよいよ収穫を迎えます。

このプロジェクトではクラウドファンディングサイト「読売新聞idea market」により、広く一般の皆様から活動費用の支援をお願いしています（～11月30日）。また、生徒達の活動記録も更新されています。



詳しくは、QRコードを読み取りご覧ください。

※QRコードの遷移先

<https://idea-yomiuri.en-jine.com/projects/tezukayama>

1位を目指さず1位になる… 「京」から「富岳」へ 富岳オンライン講演会

【8月6日】……

理化学研究所・庄司文由さんによるオンライン講演会が数学研究部で行われました。

庄司さんが開発を担当した次世代スパコン「富岳」は来年4月の正式運用を目指していますが、既に計算速度ランキングで「京」から8年半振りに世界一を奪還。日進月歩の技術で世界と競うがゆえの苦労話をエピソードも交え、わかりやすく教えて頂きました。

部員達は、次々と話題に挙がるニュースの世界を目の当たりにし、驚きの表情を見せながら話に聴き入っていました。



令和3年度

高等学校【生徒募集要項】

試験日：令和3年2月6日(土)
募集人員：340名(帝塚山中学校からの内部進学者を含む)
うち、外部中学校からの募集人数は以下のとおりです。

男子英数コース・英数クラス 約15名
女子英数コース・英数クラス 約15名
女子特進コース 約30名
計 約60名

出願期間：令和3年1月12日(火)～令和3年1月24日(日)

※詳細は、ホームページをご覧ください。

https://www.tezukayama-h.ed.jp/pdf/bosyu_h2021.pdf



【8月3日】

街をテヅカ色に彩る… 南都銀行ショーウィンドウ展示

今年4月より南都銀行学園前支店のショーウィンドウでは、書道部・美術部・写真部の作品展示が行われています。

きっかけは、卒業生で同支店勤務の上田皓子さんからの呼びかけ。「帝塚山で書道部に所属していた経験もあり、育ててもらった恩返しとして何か協力したい」と支店長へ直談判され実現に至りました。

この日には、3クラブでの合同展示に模様替えされました。早速、銀行前を行き交う方の中には作品を撮影される姿があり、好評の声も多く聞かれているとのこと。



左から神谷支店長、上田さん、鉄東さん、小鍛冶課長
(上田さん以下3名は、本校卒業生。)



書道
西川未紗さん(中学1年)

政治やコロナなど沢山の問題がある中で、私たち自らが動くことで解決しないといけないという思いを持っているのですが、現状は何もできていないので、やはり日本は妖怪(アマビエ)に頼ることしかできないかと。
しかし、少しでも良い社会になるようお願いを込めて、最後は「光あれ!」としました。
※「アマビエ」をテーマとした書写授業作品。

写真
高尾萌衣さん(高校2年)

ふと立ち寄った神社で、飾ってあった風鈴に目が留まり撮影しました。今年は梅雨が長かったし、夏休みも外出自粛で風鈴は活躍の場が無いのかな…という情景から、「待機中」というタイトルを付けました。
「待機」には、やがて騒ぎが落ち着き、風鈴にも活躍の機会が来るというプラスの意味も込めています。

美術
泊来実さん(中学2年)

「(コロナで見られなかった)春の風景」がテーマだったのですが、インターネットを見ている時に、夜桜が水面に映る姿の写真がとても印象に残ったので描きました。
この作品では、桜の花の様子を表現するのにとても苦労しましたので、これをポイントに見てもらえればと思っています。

令和3年度

中学校【生徒募集要項】

試験日：1次A入試・1次B入試／令和3年1月16日(土)
2次A入試／令和3年1月17日(日)
2次B入試／令和3年1月18日(月)

募集人員：計300名(帝塚山小学校からの内部進学者を含む)
男子英数コース
スーパー理系選抜クラス 1学級・英数クラス 2学級
女子英数コース
スーパー選抜クラス 2学級・英数クラス 2学級
女子特進コース 2学級

出願期間：令和2年12月8日(火)～令和3年1月8日(金)

※詳細は、ホームページをご覧ください。

https://www.tezukayama-h.ed.jp/pdf/bosyu_jh2021.pdf





小学校

運動会 ～離れていても、心は密に～

コロナ禍で学校行事の中止が相次ぐ中、10月11日、大規模な学校行事としては今年度初となる運動会が行われました。

しかし、例年通りとはいかず、実施時間の短縮、また見学席を6年生保護者のみとして、後日オンライン配信を実施するなど、これまでとは大きく異なる形式となりました。

プログラムについても、4つのチームに分かれて得点を競う従来の競技のほか、なかなか会えないおじいちゃんやおばあちゃん、仲間などへ日頃の想いを伝える団体演技も行われ、例年とは違う「人との繋がりを」感じさせる趣向が凝らされました。

優勝は白組となりましたが、4チームの力が結集して思いが一つになった、テーマ通り「心が密」な運動会となりました。

TOPICS 小学校



…… [7月16日]

インターネットを使う際のマナーを知ろう

高学年の児童を集めて、帝塚山大学・日置慎治教授による「メディアモラル講習会」が開かれ、インターネットに潜む怖さや思わぬ落とし穴について、事例を交えながら教わりました。

冒頭に「Twitter・TikTokなどのSNSって、実はルール（利用規約）で13歳未満の子どもは使ったらダメと決められているんだよ」と知らされると、子どもたちは友達と顔を見合わせながら驚きの表情を見せ、以降の話にも熱心に聴き入っているのが印象的でした。



[8月3日]

地道に続けてきた努力が実りました

コロナの影響で1学期末の全校集会が開催できなかったことから、この春に大きな賞を頂いた児童の表彰式をこの日、校長室にて実施しました。

本誌第8号で紹介した「第19回自己表現力コンクール」受賞者3名のほか、「2019年度英語朗読コンテスト」優秀賞に選ばれた吉田あすかさん（5年生組）、「第31回MOA美術館全国児童作品展（書写の部）」入選作品に選ばれた坂口日奈子さん（5年生組）が野村至弘校長より賞状を受け取りました。



吉田 あすかさん



坂口 日奈子さん

令和3年度

児童募集要項 【2次募集】

★新型コロナウイルスの影響により、説明会・体験入学が十分にできなかったことから、令和3年度募集に限り特別措置として実施します。

試験日：

【面接】令和2年11月28日（土）

【考査】令和2年11月29日（日）

募集人員：若干名

出願期間：

令和2年11月9日（月）～

令和2年11月13日（金）

※詳細は、ホームページ
をご覧ください。

<https://www.tezukayama-e.ed.jp/information/guidelines.html>



特集

臨時休校中における各学校園の対応について

政府からの要請により臨時休校とした3月2日から授業再開までの、各学校園の動きをまとめました。

中学校・高等学校

臨時休校が新学期以降も及ぶことが判明した段階からオンラインでの課題配信を行うこととし、当初は紆余曲折があったものの、原則的には「G Suite for Education」をフォーマットに、指定する授業動画へアクセスして視聴する仕組みとしました。

また、朝のホームルームをWeb会議システム「Zoom」を使い併せて実施することで、通常授業と変わらない時間割型の学習支援を開始しました。

単に板書をして読み上げるものであると生徒が退屈してしまうことを考え、コロナ以前の対面授業で培ってきた教員の勤で、生徒が躓くであろう箇所をしっかりとフォローするなど、できるだけ通常授業に近い動画作成を目指しました。これらのコンテンツは、今後の通常授業への活用も期待されています。



小学校

3月は学習教材を各家庭へ発送していましたが、臨時休校の延長を余儀なくされたことから、定期的に動画配信を開始しました。

授業再開となった6月まで、動画は各学年で週4本、PDF文書での課題配信は毎日行いました。ただ、特に低学年では画面に一定時間以上集中できないため10分程度で完結する動画にするよう配慮しましたが、全てを教えるのは難しく、通常授業や夏休み期間、2学期の土曜授業を利用して取り戻すようにしています。

また、授業再開にあたっては、活発に動き回る児童のことを考え、施設面での感染対策を徹底的に講じました。新しい生活様式に即すことはもとより、教室の机の配置間隔を空ける(①)ほか、トイレに並ぶ際の立ち位置を示すサインの設置(②)、不特定多数が触れる砂場の閉鎖(③)、運動場で使う遊具のクラス指定(④)及び休み時間ごとの消毒作業等も継続的に実施しています。

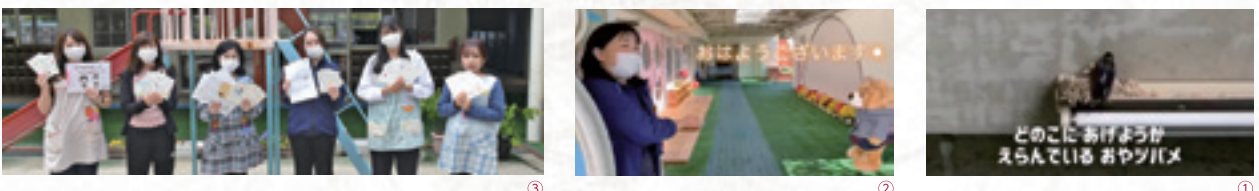


幼稚園

幼稚園では「身近な自然を教育に取り入れること」を主眼に置いていることから、塗り絵などの教材を各家庭へお届けするほか、ツバメの巣の観察や園庭で春探しをして見つけたダンゴムシや草花の動画(①)を配信し、これを随時更新することで、自宅で過ごす園児たちに楽しんでもらいました。

また、年少組については、まだ一度も登園ができていない状況を踏まえて「幼稚園ではどんな楽しいことが待っているか」をテーマに、先生の自己紹介や制服を着た熊のぬいぐるみが園内を散策する様子の動画(②)を配信して、幼稚園をバーチャル体験してもらえる工夫を凝らしました。

園児からの反応は良く、動画で見たツバメのイラストや自宅で取り組んでいること、また「先生に早く会いたい」など数多くのメッセージ(③)が幼稚園へ寄せられ、早く通いたい、遊びたいという子どもたちの強い思いが伝わってきました。





2か月間、ずっと待っていたよ 帝塚山幼稚園入園式



入園式では、担任の先生からお名前を呼ばれると、元気のいいお返事が聞こえてきました。

新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休園からの保育再開を受け、例年より2か月遅れとなる6月2日、入園式が行われました。

感染拡大防止の観点より、小学校から大学までは入学式を中止とした経緯から、年少2クラスを別時間として密を避けるなど、徹底した対策が取られました。

入口では、担任の先生が子どもたちを迎え、一人ひとりに声を掛けながら手指消毒の指導を行ったあと、真新しい名札を胸へつけていきました。

4月からオンライン配信動画では先生の顔を見ていたものの、今日が初対面となることから、中には恥ずかしくしてお父さん・お母さんに隠れてしまう園児もいましたが、この2か月を取り戻すかのようには、動画を見た感想や家での過ごし方をしっかりと話してくれる姿もあり、今後の幼稚園での成長が楽しみに感じられました。



どんな湯のみ茶碗ができるかな？ 赤膚焼体験

【7月15日】……

園外保育として、赤膚焼の窯元を訪問しました。

四代目大塩昭山先生の説明を受けながら登り窯と工房を見学した後は、いよいよ湯のみ茶碗の製作に挑戦。子どもたちは「粘土をうまく重ねていくのは難しかったけど、楽しかった。」「できた湯のみ茶碗を使うのが楽しみ。」と感想を話しながら、大塩先生にもお手伝いをしてもらい、丸・三角・ハートやネコなど好きな形に作り上げていました。

これらの作品は完成後、12月上旬開催の制作展で展示される予定です。



……【7月10日】

ゲームで学ぶ… English Time



小学校英語科主任の森本敦子先生による出張レッスン、「English Time」が今年度もスタートしました。このレッスンは、楽しみながら英語に慣れ親しむことをコンセプトにした月1回20分のプログラムで、今回は物の形 (shape) がテーマでした。

先生が示す形を保育室内で見つけるゲームでは、子どもたちは周囲を探し、形を指差しながら「triangle!」・「circle!」と元気な声で伝えていました。



……【8月29日】

浴衣姿で夏の思い出づくり てづキッズ祭り

年長組の園児を集めた夕涼み会「てづキッズ祭り」が行われました。

これは、例年夏に実施しているお泊まり保育がコロナ禍で中止となったことから、「子どもたちに少しでも夏の思い出を」という先生の思いで、急遽企画されたものです。

色とりどりの浴衣に身を包んだ子どもたちは、お祭りの装飾が施された園庭で縁日を楽しんだほか、先生らによる「南の島のカメハメハ大王」の合奏に合わせてダンスをしたり、マジックショーを見たりして、とびきりの笑顔とともに過ぎ行く夏の思い出を刻んでいました。



令和3年度

園児募集要項 【2次募集】

★新型コロナウイルスの影響により、説明会・体験保育が十分にできなかったことから、令和3年度募集に限り特別措置として実施します。

試験日：令和2年12月19日(土)

募集人員：若干名(3年保育・2年保育とも)

出願期間：令和2年12月7日(月)～

令和2年12月11日(金)

※詳細は、ホームページをご覧ください。

<https://www.tezukayama-k.jp/information/guidelines.html>



帝塚山 アーカイブズ

シリーズ 6 回目の帝塚山アーカイブズでは、
大学の歴史を紐解いていきます。
今回は前編として、昭和 39 年の開学から平成 12 年までの
20 世紀の歴史を振り返り、写真も交えながらご紹介します。

1964	昭和39年	帝塚山大学 開学(教養学部 教養学科の女子単科大学)
1982	昭和57年	考古学研究所 設置
1987	昭和62年	経済学部 経済学科 設置(同年より全学男女共学化)
1991	平成3年	大学院 経済学研究科 経済学専攻(修士課程)設置
1992	平成4年	経済経営研究所・人間環境科学研究所・芸術文化研究所 (現:奈良学総合文化研究所) 設置
1993	平成5年	経済学部 経営情報学科・大学院 経済学研究科 経済学専攻 (博士後期課程) 設置
1996	平成8年	大学院 人文科学研究科 日本伝統文化専攻(修士課程)設置
1997	平成9年	法政策学部 法政策学科 設置
1998	平成10年	経済学部 経営情報学科を経営情報学部 経営情報学科に改組 大学院 人文科学研究科 日本伝統文化専攻(博士後期課程)設置
1999	平成11年	教養学部を人文科学部に改組 人文科学部 日本文化学科・英語文化学科・人間文化学科 設置

■ 1964 開学式・第1回入学式

開学時はまだ大学の校舎が完成しておらず、学園の旧円形講堂にて実施された。最初の入学生は108人。



■ 1965 開学当初の授業風景

教養学部では「広い国際的視野の上に、教養豊かな近代女性を育成すること」を教育目的としていた。



■ 1968 第1回卒業式での学位授与

学歌「この丘に立てば」が、卒業生を送り出すに当たってこの日初めて披露された。

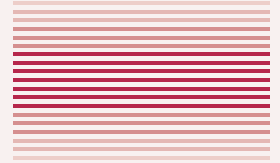


■ 1990
女子大学として最後の第23回卒業式
第1回卒業式から歴代卒業生により受け継がれてきたガウン・角帽による参列は、この年まで続いた。ガウンには歴代卒業生の名前の刺繍も。



■ 1987
男女共学化初となる第24回入学式
教養・経済の2学部合わせて422名の男子学生が入学。先輩の女子学生から熱烈な歓迎を受ける。

■ 1981
大学祭の様子
図書館北側にはかつて通称「石舞台」と呼ばれた庭園があり、ここで様々なイベントが催されていた。



創立80周年記念事業

I. 安全・安心と快適・エコキャンパスへの転換



パウダールームを含むトイレの快適・美装化を進める。また、省エネタイプの空調設備を導入し、照明設備のLED化によるエコキャンパスへの整備。

〈画像〉奈良・学園前キャンパス 14号館 地下1階 パウダールーム

II. 学園講堂設備の整備



学園の中核施設である奈良・学園前キャンパス1号館の学園講堂設備のデジタル化とLEDの照明設備への整備。

※画像はイメージです。実際とは異なります。

学校法人帝塚山学園は、令和3年に創立80周年を迎えます。

80周年を迎えるにあたり、帝塚山学園では「安全・安心と快適・エコキャンパスへの転換」と「学園講堂設備の整備」を重点施策とし、学び舎の環境整備を行います。

なにとぞ本募金の趣旨をご理解いただきまして、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金についてのお問い合わせ、
その他ご連絡は理事長室法人課まで。

TEL.0742-41-4509 FAX.0742-48-9894

ご芳名一覧

帝塚山学園創立80周年記念事業の趣旨にご賛同いただき、これまでにご寄付を頂戴した皆様への御礼の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。

なお、ご芳名については、令和2年8月31日までにご寄付を頂戴した法人・団体及び個人の方で、ご芳名の公表の意思をご確認させていただいた方のみ、五十音順で掲載いたしております。

〈法人・団体〉

大川運輸倉庫株式会社 様 株式会社吉祥 様 特定非営利活動法人サイバー・キャンパス・コンソーシアムTIES 様
帝塚山学園同窓会 様 帝塚山短期大学同窓会 様

〈個人〉

浅尾 昭子 様	榎原 昌子 様	久保利 陽子 様	谷掛 富美子 様	中野 勝夫 様	東本 かおり 様	松本 裕士 様
朝岡 伸夫 様	戎野 孝子 様	後藤 まどか 様	谷川 正則 様	中濱 涼 様	樋口 真樹 様	松本 龍平 様
足立 幸子 様	大島 邦夫 様	小西 亮志 様	谷口 裕子 様	西口 まゆり 様	尾藤 勝宣 様	南本 多加子 様
有山 雄基 様	太田 真穂子 様	小原 剛 様	谷所 愛子 様	西口 由利子 様	平尾 陽子 様	村田 昌彦 様
有山 忠志 様	大竹 紀代子 様	駒田 和子 様	谷脇 訓子 様	西口 純弘 様	福井 賢一 様	毛利 一朗 様
井浦 哲平 様	大塚 延智子 様	酒本 千鶴 様	溜谷 隆 様	錦織 方人 様	福岡 益実 様	本島 愛 様
五十嵐 郁子 様	大西 博子 様	坂本 千春 様	溜谷 剛 様	西澤 公子 様	福村 常敬 様	本島 かおる 様
池田 高己 様	岡田 晃久 様	坂本 裕子 様	丹野 和美 様	西原 崇浩 様	藤田 俊朗 様	森田 洋平 様
池田 節 様	尾角 正人 様	櫻井 恵子 様	近久 久子 様	西村 時生 様	本田 節子 様	矢野 千春 様
石橋 善之助 様	岡野 智之 様	佐藤 仁紀子 様	辻本 光世 様	西村 岳洋 様	本田 剛 様	山内 成治 様
戌井 恭子 様	奥出 仁美 様	塩見 修 様	土田 雄三 様	西村 成広 様	本田 直樹 様	山中 隆行 様
井上 俊子 様	尾崎 美智子 様	七条 光弘 様	妻鹿 泰子 様	羽鹿 由里子 様	前田 憲一郎 様	山中 照恵 様
今里 泰彦 様	小田 登志子 様	矢尾 美奈子 様	土居 隆 様	橋爪 宗和 様	牧本 佳久 様	山野 邦浩 様
岩井 忠恕 様	小原 伸子 様	柴田 正夫 様	徳永 加代 様	橋本 美樹 様	増井 敏伯 様	山本 富久子 様
魚橋 敏泰 様	柿谷 伽耶実 様	芝野 貴士 様	富井 克行 様	長谷川 隆正 様	増成 清行 様	吉川 勝久 様
内菌 香織 様	柿谷 瑞紀 様	朱 桂愛覇 様	富岡 将人 様	花谷 茂子 様	松江 温子 様	吉田 照子 様
卯西 恵理 様	勝美 芳雄 様	鈴木 智子 様	豊川 宝造 様	濱田 康子 様	松江 優子 様	吉田 知賀 様
海野 照美 様	加藤 綸子 様	高嶋 美由紀 様	取柵 正一 様	林 若奈 様	松尾 和子 様	蓮花 一己 様
梅田 四郎 様	川那部 顕 様	竹内 麻記 様	中嶋 徹 様	林 幹夫 様	松岡 喬一郎 様	脇 京子 様
榎本 宏成 様	北橋 富子 様	竹内 真由美 様	長田 葉子 様	原田 清行 様	松岡 誠 様	和田 博一 様
榎本 雅夫 様	清岡 義教 様	田中 乗子 様	長田 洋子 様	日浦 成彦 様	松岡 正格 様	綿谷 基 様



学校法人帝塚山学園
Tezukayama Gakuen



「T-time」を
スマートフォンで！

スマートフォンなどでも、
お楽しみください。

【おことわり】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各学園の年間行事について、三密を避ける等、例年とは違う形での実施あるいは規模の縮小や中止としています。また、課外活動等の大会においても同様の対応となっています。

このため、学園広報誌「T-time」の発行についても誌面の構成上、令和2年度は年2回の発行とし、次号(第10号)は令和3年3月に発行する予定をしています。あらかじめご了承ください。